

## 第二次坂井市地域公共交通計画(案) に関するパブリックコメント募集の結果について

### 1. 意見募集期間

令和8年1月21日(水)～令和8年2月4日(水)

### 2. 意見提出者数及び意見件数

(1)提出者数 2人

(2)提出意見数 2件

### 3. 提出された意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>【第4章 地域公共交通計画について】</p> <p>イータクをはじめ、高齢者の移動手段確保に向けた取組について、非常に意義ある施策であり、賛同する。</p> <p>一方で、免許返納後の移動手段喪失への不安が返納をためらわせている要因となっていると感じる。その不安を和らげるため、イータクの運行エリアや便数拡充、返納者への利用補助実施、家族と共に利用できる仕組みづくりなどの施策の充実を求める。</p> <p>また、車いす利用者が自分の意志で移動できる選択肢として、イータクへ車いす対応車両や福祉車両の導入検討を要望する。</p> <p>イータクのような地域交通と、春江駅をはじめとする鉄道駅の改修が連携することで、「車を運転できなくなっても暮らし続ける坂井市」をより現実のものにできると感じる。移動を理由に外出や社会参加をあきらめる人がいなくなるまちづくりを今後も進めてほしい。</p>	<p>運転免許返納者への利用補助については、イータクを含む公共交通の運賃支払いに利用できる交通系 IC カード(ICOCA)を交付しているところであり、今後も継続してまいります。</p> <p>また、免許返納後の移動に不安を感じる方の安心につながるよう、イータクの周知・広報の強化を進めるとともに、利用状況やニーズを踏まえ、運行エリア、時間帯、便数やサービスの拡充について検討していきます。</p> <p>車いす利用者への対応については重要な課題と認識していますが、現行車両では構造や安全な乗降の確保といった点から、すべての車いすに対応することが難しい状況にあります。障がい者の合理的配慮の観点から、まずは現行車両で可能な範囲での改善に努めるとともに、誰もが快適に移動できる環境となるよう、観光・環境・福祉等の多様な分野と公共交通の連携等を通じて検討を進めてまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
2	<p>【付属資料Ⅲ アンケート全般について】</p> <p>市民アンケートについて、経年変化を定点観測するという点で一定の意味がある一方、頻度や対象によっては、交通サービスの変化に対応した機動的な測定がしにくい、公共交通を利用しない方の比率が圧倒的に多くなり利用者に関する定性データが乏しくなる、といった課題があると思われる。</p> <p>こうした手法とあわせ、二次元バーコードやデジタルツール等を用いた随時アンケートなど、より簡素かつ動的に市民の声を収集する仕組みがあれば、より迅速な改善に役立つと思われるため、検討されてはどうか。</p>	<p>計画 p.41 にあるとおり、「公共交通の利用状況及び施策の進捗状況について交通会議で報告」としており、この利用状況等の把握の段階で、利用者のご意見を適切に反映したいと考えております。</p> <p>ご意見を踏まえ、例えばバス・タクシー車内へのアンケートチラシ(二次元バーコード付き)の設置等、利用者意見の効果的な収集方法について、引き続き具体的な検討を進めてまいります。</p>